

## 舞踊関係文献目録 — 昭和53年 —

\* この目録は、昭和53年度に発行された舞踊関係の日本語文献(単行本、雑誌・紀要論文)を収録したものである。

\* 便宜上、次の分類に従った。

総記・芸術(一)・芸術(二)・民俗・教育

このうち、芸術は舞台舞踊、民俗はそれ以外の舞踊とし、芸術(一)は主として日本の舞踊、(二)は主として洋舞とした。

\* 各項においては、単行本、雑誌の特集、雑誌・紀要論文の順に配列した。

\* 雑誌・紀要の号数は洋数字、巻号は0-0とし、月刊誌は0月とした。

\* 本目録を、研究交流・情報交換の場として充実させるため、遺漏の分についての大方の御教示をお願いする。(板谷 徹)

### <総記>

日本庶民文化史料集成別巻・総合芸能史年表 芸能史研究会編 三一書房

邦舞の古典性—比較舞踊学の試み— 上林澄雄 舞踊学1

舞踊伴奏音楽の研究—伴奏音楽の作成についての一考察 三木孝子 天理大学学報策114

舞踊美学のために—わたしの体験から 佐藤俊子 心5月

舞踊の領域に関する研究〈その1〉 徳家章子 目白学園女子短期大学研究紀要15

舞踊の鑑賞語・評価語〔Ⅲ〕—舞踊構造化のために  
日本舞踊の鑑賞語パレエの鑑賞語 金城光子 琉球大学教育学部紀要22(2)

舞踊における構え姿勢の分析 牛山清子 女子体育2月  
舞踊運動における DYNAMICS に関する研究 伊藤和子 同上

舞踊学の動向—学校教育の側面から 松本千代栄 舞踊学1

日本における舞踊研究の足跡—日本舞踊史を中心に— 板谷徹 同上

古代日本における遊び(10)—宇宙創造としての魚の遊び— 荻野恕三郎 芸術研究年報29Ⅲ

舞と踊と 小笠原恭子 歴史公論10月

舞踊の周辺 永井啓夫 舞踊研究5・7・8

テレビのメディアにおける舞踊 石川健次郎 同上

舞踊関係文献目録—昭和52年— 舞踊学1

外国の舞踊書から 同上

舞踊年表 如月青子 芸能1-12月

### <芸術(一)>

日本庶民文化史料集成3 能 芸能史研究会編 三一書房

寺院における舞楽の伝統と生命力—撰州四天王寺聖

霊会舞楽を中心に 高橋美都

天王寺舞楽 雅亮会編 講談社

観阿弥の芸流 北川忠彦 三弥井書店

能の歴史 小林責・増田正造 平凡社

日本の芸談3 能・狂言・文楽 九芸出版

日本の芸談1 歌舞伎1 九芸出版

日本舞踊全集2 演目解説Ⅱ 日本舞踊社

のちの雪 武原はん 光風書店

特集・歌謡・芸能 文学・語学80・81

特集・家元制度と日本の社会 歴史公論4月

特集・中世芸能の世界 歴史公論10月

特集・能と狂言の世界 国文学6月

特集・能(日本のこころ25) 別冊太陽

特集・弓八幡 観世1・2月

特集・唐船 観世3月

特集・蟻通 観世5・6月

特集・熊坂 観世7・8月

特集・富士太鼓 観世9・10月

特集・紅葉狩 観世11・12月

特集・勸進帳 季刊邦楽14

特集・道成寺もの 季刊邦楽17

特集・舞踊と伝説・民話 PART Ⅱ 創作舞踊3

特集・道化 創作舞踊4

特集・怨霊 創作舞踊5

かぶき舞踊まで32-36 郡司正勝 日本舞踊1・2・4・9・11月

伎楽小考 本田安次 芸能12月

熱狂の系譜と中世芸能 西垣晴次 歴史公論10月

詩歌管絃から歌舞音曲へ 中小路駿逸 同上

芸能者の風貌 後藤淑 同上

古猿楽の伝承—翁猿楽の系譜 山路興造 同上

翁舞と今様四句神歌 後藤淑 文学・語学80・81

「翁」と麻多羅神—「翁」成立の根源に対する一考察

山木ユリ 日本文学9月

天女舞の研究 竹本幹夫 能楽研究4

『二曲三体人形図』の天女舞について 片岡美智

観世2月

花・位・幽玄—世阿弥の能楽芸術論 西尾陽太郎

西南学院大学文理論集18(2)

「夢幻能」について—「井筒」の亡霊の系譜 辻真理子

成城文芸84

世阿弥の伝書における時間概念と夢幻能の成立 西

崎専一 美学112  
 花と幽玄と 西野春雄 歴史公論10月  
 世阿弥の「離見の見」 峰村文人 児童心理10月  
 心より心に伝ふる花一能の現象学— 観世寿夫  
 新劇10～12月  
 舞踊の認知構造について—世阿弥能芸論の舞踊意味  
 論的分析の試み 大城宜武 体育学研究23—1  
 老女物概念の成立 小山瑛子 KYORITSU REVIEW 6  
 能の基本型(仕舞)の運動形態学的研究(その二「序論」  
 那須高之助 東京女子体育大学紀要13  
 『拾玉得花』について 菅野信弘 青山語文8  
 茶神物語と夢幻能 堺光一 皇学館大学紀要16  
 「蟻通」とその周辺 佐藤健一郎・鳥居明雄 宝生1～  
 3月  
 「田村」とその周辺 佐藤健一郎・鳥居明雄 宝生4～  
 8月  
 「三井寺」とその周辺 佐藤健一郎・鳥居明雄 宝生  
 9～12月  
 観能講座 室生英雄 宝生1～12月  
 47吉野静・48百万・49春日竜神・50頼政・51千手  
 ・52龍太鼓・53国栖・54嵐山・55実盛・56井筒・  
 57龍田・58熊坂  
 「摂待」考 天野文雄 国語と国文学2月  
 作品研究『弓八幡』 八島正治 観世1月  
 作品研究・唐船 味方健 観世3月  
 作品研究・蟻通遡源 森正人 観世5月  
 作品研究「熊坂」 徳江元正 観世7月  
 作品研究「富士太鼓」 田口和夫 観世9月  
 作品研究「紅葉狩」 西野春雄 観世11月  
 元雅の物狂能 三宅晶子 国文学研究66  
 シラバヤシ考 竹本幹夫 国文学研究65  
 私の身体でつかんだ伝統—古典舞踊 古典舞踊の過  
 去と未来 西原和 女子体育5月  
 ふりゅう・ばさら・かぶき 守屋毅 歴史公論10月  
 座談会・家元制度と日本の社会 西山松之助・浜口  
 恵俊・芳賀登 歴史公論4月  
 家元制度の成立 守屋毅 同上  
 家元制度の社会的背景・江戸時代芸能の社会的性格  
 衣笹安喜 同上  
 型の伝承と家元・上方舞一代記 吉村雄輝・権藤芳  
 一 同上  
 伝統芸術と家元制度 武智鉄二 同上  
 家元の人類学 米山俊直 同上  
 振弟子と踊師匠 板谷徹 同上  
 家元制度研究史 寛書 立川洋・広瀬千紗子 同上  
 芸人と舞踊3・4 矢野誠一 創作舞踊3・4  
 舞踊名言集成(19)～(30) 郡司正勝 邦楽と舞踊1～12月  
 日本舞踊の歴史3～6 藤田洋 創作舞踊3～6  
 日本舞踊と民話の世界 高瀬精一郎 創作舞踊3  
 ガニ股について—土方異寸感 八木忠栄 同上  
 昔話の中の舞踊家 大島広志 同上

舞の系譜(2)～(6) 垣田昭 舞踊研究5～8  
 道成寺の戯曲 横道万里雄 季刊邦楽17  
 「執心鐘入」と大和芸能 矢野輝雄 同上  
 道成寺集成(V)～(Ⅶ) 駒井義之・後藤瑠美子 舞  
 踊研究5～8  
 能「安宅」と歌舞伎「勧進帳」 小林責 季刊邦楽14  
 歌舞伎舞踊の「紅葉狩」 松井俊論 観世11月  
 「京鹿子娘道成寺」の踊り 戸部銀作 季刊邦楽17  
 「京鹿子娘道成寺」成立私考 山岡知博 芸能7月  
 学部所蔵・歌舞伎舞踊衣裳について 豊田玲子  
 演劇創造8  
 振付の発生 西形節子 日本演劇学会紀要17  
 研究資料〈幕末嘉永七年のおどり譜〉 丸茂美恵子  
 舞踊研究1  
 『妓楽踏舞譜』考 丸茂美恵子 舞踊学1  
 振付の美学 花柳芳次郎 舞踊研究5～8  
 舞踊曲を聞きなおす(18)～(29) 上林澄雄 邦楽と舞踊1  
 ～12月  
 舞踊参考室 日本舞踊  
 鞍馬山(下) 松本亀松 1月  
 三国一 新谷誠太郎 2月  
 元禄花見踊 郡司正勝 3月  
 傾城道成寺 松本亀松 4～6月  
 袖の露二題(付袖香炉・袖頭巾) 新谷誠太郎 7月  
 太刀盗人 長田午狂 8・9月  
 素襖落 長田午狂 10・11月  
 踊の心 邦楽と舞踊  
 供奴 目代清 1～3月  
 三ツ面子守 西形節子 4～6月  
 汐汲 目代清 7～9月  
 越後獅子 西形節子 10～12月  
 諸流の昔と今 江口博 日本舞踊  
 志賀山流 1～3月  
 花柳流 6～10月  
 日本舞踊手法講座42～45 猿若清方 日本舞踊1～4月  
 日本舞踊の基本練習(19)～(30) 花柳千代 邦楽と舞踊  
 1～12月  
 日本舞踊基本練習について 花柳千代 舞踊学1  
 志賀山流・踊り綴①～③ 志賀山葵 邦楽と舞踊10～  
 12月  
 山村たか芸話1～2 山村たか 日本舞踊11・12月

## ＜芸術(二)＞

瀕死の白鳥 アンナ・パヴロヴァの生涯 小倉重夫  
 編 富山房  
 ディアギレフ ロシア・バレエ団の足跡 小倉重夫  
 音楽之友社  
 モーリス・ベジャール—現代バレエの精髓 A・リ  
 ビオ 前田充訳 西田書店  
 舞踊への旅標 石田種子 三省堂

バレエの魅力 松山樹子 講談社

夢みるバレリーナ 森下洋子 写真・西川治 サン  
リオ

バレエものがたり 服部智恵子監修 講談社

特集・一九七七年秋の舞踊公演 ダンス・ワーク20

特集・現代舞踊作家論13 武井慧 同上

特集・いまモダンダンスは… ダンス・ワーク23

特集・セルゲイ・ディアギレフ ダンス・ワーク24

モダン・ダンスの定義に関する研究 片岡康子  
舞踊学1

動きでさぐる舞踊の歴史 女子体育4・5・7~12月

9. ディアギレフ以後(2) 川路明

10. イサドラ・ダンカンの技法 若松美黄

11. 帝国劇場の開場 日下四郎

12. 石井・高田時代の始まり 日下四郎

13. 失覚者たちの足跡 日下四郎

14. ドイツ・ノイエタンツの系譜 日下四郎

15. アメリカの現代舞踊史 日下四郎

16. 総括・今日の現代舞踊 日下四郎

美的運動形成の特性に関する実験的研究 Modern  
Dance と Modern Gymnastics の運動比較 大藪五  
百子 女子体育6月

DANCE MODEL #1 #2 榎本了亮 地下演劇12  
ベジャールとボブ・ウィルソン 利光哲夫 テアトロ  
6月

舞踊の病いと死期Ⅳ・大野一雄・舞踏公演「ラ・アル  
ヘンチーナの夢」中村文昭 ダンス・ワーク22

舞踊の病いと死期Ⅴ 中村文昭 ダンス・ワーク24

現代舞踊とバレエ(56)~(64) 桜井勤 日本照明家協会雑誌  
2~6・8・9・12月

現代舞踊の原点1・2 上林澄雄 ダンス・ワーク23・24

現代舞踊作家論 ダンス・ワーク

13. 袋を背負った旅行者 武井慧小論 市川雅  
22

14. 藤井公・利子論 いま錯乱する“リベラリズ  
ム”の表章 荻生泰治 23

世界の舞姫物語 マリシア・ハイデ 富田真介  
ダンス・ワーク23

大野一雄の腐刻畫 長尾一雄 ダンス・ワーク22

秋のオイフォリオン—聖霊舞踏会 既婚者のための  
高橋亨 同上

肉体にひそむ原—言語を求めて 上林澄雄 同上  
日本のモダン・ダンスの秀作と作家たち 桜井勤  
ダンス・ワーク23

私の谷桃子 井上博文 同上

現代バレエとディアギレフ・ロシアバレエ団 ダンス・  
ワーク24

バレエ・リュス再訪〈ディアギレフとロシア・アヴ  
ァンギャルド〉 海野弘 同上

セルゲイ・ディアギレフ〈その情熱の源泉とゆくえ〉

佐藤俊子 同上

ディアギレフ・芸術の推進者 久保正士 同上

井上博文によるバレエ劇場10年 井上博文 同上

座談会・舞踏を語る 土方巽・芦川洋子・郡司正勝  
・市川雅 邦楽と舞踊1月

病める舞姫9~10 土方巽 新劇1・3月

聞き書河藤たつろ舞踊人生3~6 鴨一平 創作舞踊  
2・4・8・11月

## <民俗>

京都の田楽調査報告書 京都府教育委員会編 京都府  
教育委員会

新島の郷土芸能 新島郷土芸能連合保存会編 新島郷  
土芸能連合保存会

大戸の神楽—埼玉県と野市文化財報告書第三集 与  
野市教育委員会編 与野市教育委員会

福岡県の民俗芸能 福岡県教育委員会 西日本文化協  
会

祭りと芸能の旅 1.北海道・東北 本田安次・渡辺  
伸夫編 2.関東・甲信越 榎本由喜雄・石田武久  
編 3.東海・北陸 後藤淑・田中義広編 4.近畿  
新井恒易・田中英機編 5.中国・四国 高橋秀雄  
・山路典造編 6.九州・沖縄 三隅治雄・萩原秀  
三郎編 ぎょうせい

愛媛の祭りと民俗 守屋毅 雄山閣

秩父神楽—秩父神社附属神代神楽 秩父神社神楽保  
存会編 秩父神社

日本のおどろ—全国代表民踊南から北から 中山義  
夫 日刊スポーツ出版社

特集・民俗劇 韓3・4月

特集・宗教民俗 まつり31

特集・奄美のまつりⅠ まつり32

越中婦負郡の熊野神社に伝わる稚児舞楽の研究—越  
中越後の稚児舞楽についての報告-3- 水原渭江  
日本民俗学118

福井県敦賀市金山の田遊び“ダノセ祭”—翻刻・正徳  
四年銘田遊び台本— 朝比奈威夫 民族と歴史6  
敦賀市野坂神社「だのせ祭」の万歳楽から 後藤淑  
同上

羽越国境地帯の神楽(一) 渡辺伸夫 同上

韓国の巫俗 萩原秀三郎 民族学4

ゴクラクチョウの踊り 岩合徳光 民族学5

<採集報告その1>—バリ島における舞踊の種類と特  
性—特にその「型」と「技法」を中心とする— 勝部  
月子 KYORITSU REVIEW 6

守護聖人の祭りにみられる民俗芸能について—メソ  
・アメリカの例の比較の試み— 黒田悦子 国立民

剣舞(川中島)のエネルギー代謝率についての研究

伊藤くに・佐藤光毅・新毛助直 弘前大学教育学部紀要39

宇佐宮の雅楽と伎楽 中山重記 宇佐文化165

組踊と能 その(2) 組踊の仇討物と本土の芸能一特に二童と曾我物を中心にして一 長友武 琉球大学教育学部紀要22(1)

盆踊りの研究—岡山県における盆踊りの分布について— 三室清子 (岡山大学教育学部)研究集録49

荘園鎮守社における祭祀と芸能—若狭三方郡を中心として— 山路興造 芸能史研究60

民俗芸能の死と再生 三隅治雄 伝統と現代1月

南宮大社の神事芸能 高橋秀雄 民俗芸能58

前谷地神楽 星野紘 同上

弓神楽 星野紘 同上

江戸の里神楽 榎本由喜雄 同上

南宮大社の祭礼と芸能 高橋秀雄 同上

前谷地神楽 谷木春治 同上

弓神楽 牛尾三千夫 同上

江戸里神楽の中でおぼれながら 千葉史郎 同上

蛇の道—ある年の祭の旅— 郡司正勝 同上

松村の神踊り 檜瑛司 同上

島々の神楽と神楽師—壱岐・対馬・五島・平戸・隠岐— 石塚尊俊 山陰民俗30

山口太神楽(芸能資料)Ⅰ・Ⅱ 類家英一郎 まつり通信207・208

徳丸北野神社の田遊び 関根邦之助 民間伝承312

下市田の獅子舞 向山雅重 まつり通信208

丹後の花の踊り 田中義広 同上

奄美見里の竿踊り 本田碩孝 まつり通信209

沖縄の芸能 本田安次 沖縄芸能史研究3

琉球古典舞踊 打組踊「しゅんどう」について 照屋寛善 同上

奄美油井の豊年まつりと八月踊り 本田碩孝 まつり通信211

諸屯(舞踊論) 佐藤善五郎 アザリア1

磐城赤井嶽の唄歌 本田安次 芸能10月

聖なるもの—一巫女舞と産忌と— 田中義広 まつり31

山城木津町相楽の御田 新井恒易 まつり通信215

干支と祭り—イザイハウ私見— 吉野裕子 同上

徳之島のムチムレ踊り 徳富重成 まつり32

日本芸能民俗にみる舞と踊り—芸能民族学の一試論— 宮尾慈良 アジア・カルチャー6月

踊り—神と人とのコミュニケーション— 岩田慶治 同上

韓国の祭りの神座 本田安次 芸能8月

タイの舞踊教育 宮尾慈良 邦楽と舞踊11・12月

宗教と結びついたインド舞踊—「ヤマとヤミ」とナラタナタヤム 中村元 心3月

＜教育＞

特集・舞踊教育の方法を求めて 女子体育1月

特集・「第11回全国女子体育研究大会」報告 女子体育3月

特集・リズムカルな動きと豊かな表現をひき出す工夫 女子体育10月

ダンス学習指導に関する研究 佐分利育代 舞踊学1  
舞踊運動とその表現性に関する研究 松本千代栄・柴真理子 同上

幼児のフォークダンス—創造性を培うフォーク・ダンスの段階的指導と発展の方向 大関たか (金沢大学教育学部)教科教育研究11

児童のダンス表現法の発達についての研究 片岡牧子・穴迫洋子 (PL学園女子短期大学)紀要5

舞踊創作に関する一考察 富川知加・林真幾子 東京女子体育大学紀要13

ダンス動作の分析 小川原春恵・田川典子 同上  
創作ダンスの空間の動きについて—日常主として使用している手足(利手利足)との関係について— 古賀妙子 (佐賀大学教育学部)研究論文集第26集(Ⅰ)

舞踊における表現性と性格との関係(2)—作品創作と性格特性— 斉藤千代子・飯田頼男・斉藤文代 (静岡大学)教育学部研究報告・自然科学篇28

舞踊運動とその表現性に関する研究—DesignとTimeを中心に— 柴真理子 (女子聖学院短期大学)紀要10

創作ダンスにおけるフィードバックのさせ方について—1, 2— 中西泉・奥村収 岐阜大学教育学部研究報告・人文科学26

音のリズム刺激が呼吸・心拍数および空間形成(フロアパターン)に及ぼす影響 平井タカネ (奈良女子大学)研究年報21

「ダンス」その伝承性と創造性の学習法 三浦弓杖 新体育5月

新学習指導要領とダンスの指導 林悦子 体育科教育10月

第8回国際女子体育会議—南アフリカ・ケープタウン— 松本千代栄 女子体育1月

進化と表現についての断章 渡辺俊男 同上

これからの舞踊教育に思う—二, 三のメモから— 国枝タカ子 同上

創作ダンスの基礎における指導—私の授業実践から(中学校)— 村田芳子 同上

「私の授業」と「考えていること」 宮崎美代子 同上  
楽しい表現の授業—小学校低学年— 高橋克美 同上

ダンス指導のための伴奏を考える—その効果への一方向— 古江綾子 同上

ELEMENTER TANZ(根本的ダンス) マヤ・レツ

クス 三宅香訳 同上  
 小学校—ダンスの授業づくりの試み 川口義一 女子体育4月  
 中学校—たのしいダンス学習をめざして 佐藤絢子 同上  
 伝統文化の教材化—日本の踊り 池田雅子 女子体育5月  
 「沖縄の踊り」指導 宮城米子 女子体育6月  
 民族舞踊の授業 小野寺澄子 同上  
 地域性を生かしたダンス指導 効果的指導と教師の工夫 石井光子 同上  
 運動技能の獲得過程と精神発達 近藤充夫 女子体育10月  
 基本の運動—音楽を使って 里見まり子 同上  
 リズミカルな動き 石崎朔子 同上  
 音楽あそび 古江綾子 同上  
 やさしい伴奏法—即興伴奏へのヒント 外山友子 同上  
 中学年のダンス指導(表現運動) 三浦弓杖 同上  
 高学年のダンス(表現)の指導 相場了 同上  
 うごきのバリエーション 竹屋啓子 同上  
 動きづくりの指導法 川口千代 同上  
 作品づくりへの導入—イメージと動きのひらめきを触発する 片岡康子 同上  
 心拍数変動から見た舞踊身体育成法の特徴 鈴木由美子 女子体育11月

#### —補遺—

#### <総記>

イエイツ舞踊劇と能楽—コーラスを中心に 松山明生 武蔵野音楽大学紀要11

#### <芸術(二)>

Labanotation — 1 — 記録法のルールと事例について 林信恵 大阪体育大学紀要9

#### <民俗>

沖縄の踊りの表現特質に関する研究〔3〕—古典舞踊「高平良万歳」について— 金城光子 琉球大学教育学部紀要21(2)

沖縄の踊り〔3〕古典舞踊「高平良万歳」—舞踊譜の体系化をめざして— 金城光子 同上

中世トルコにおける宗教舞踊—The Whirling Danceと歴史的・宗教的背景 本間周子 (慶応大学)体育研究所紀要17—1

#### <教育>

創作ダンス指導の方法と効果に関する研究 三浦弓杖 千葉大学教育学部研究紀要26(2)

ダンスを創作する集団のリーダーシップに関する実験的研究 穴迫洋子 大阪教育大学紀要Ⅳ教育科学26(1)

創作ダンスにおけるイメージと表現技術 花野豊子・大松由美・市倉幸子 福岡大学体育研究15

舞踊学習に於ける思考の多様性について—作品よりみた創作活動の研究 石川博子 広島大学教育学部紀要第4部26

舞踊における「動きのモチーフ」形成 西平梅子 山梨大学教育学部研究報告28(2)

指導者自身の力量を高めるための創作実践例—「雪」をテーマに— 沖口公子・真鍋敏子 釧路論集9  
 体育科教育における舞踊の位置づけ 鈴木満洲子 福岡教育大学紀要第5部芸術・保健体育・家政・技術科編27

## 外国の舞踊書から

\*舞踊専門の外国雑誌 Dance Magazine, Dance & Dancers, Dancing Times, Viltiis, Pour la Danse などの新書紹介欄に取り上げられた1977, 78年刊行の舞踊関係の単行本のなかから、重要と思われるものを、紹介の抄訳とともに掲げる。(市川雅)

### L'Apres-Midi D'un Faune

Nijinsky 1912(Dance Book Ltd)

アドルフ・ド・マイアーが1912年ロンドン公演における「牧神の午後」をとった32枚の写真を複製し、ディグレフ、ジャック・エミール、ブランシェ、ロダンなどのオマージュを組み合わせ出版したもの。

### Jane Boutelle's Lifetime Fitness for Women

by Boutelle and Samm Sinclair Baker  
(simon & schuster)

舞踊療法の専門家であるブテールが書いた一日20分間の日常訓練法である。身体と精神の一体感を取り戻すことを目的にしている。

### Marcel Marceau, Master of Mime

by Ben Martin(Paddington Press)

マルソーのマイムの写真集といったほうがよい。スタジオの稽古写真、公演の時の楽屋、舞台などの写真、マルソーの日常生活の写真からなる。序文にマイムの歴史、マルソー論が収録されている。

### Machol Ha'am, Dance of The Jewish People

by Fred Berk (The AmericanZionist Youth Foundation)

聖書時代から現在まで踊られて来たユダヤの民俗舞踊の歴史が書かれている。

### Balanchine's Complete Stories of The Great Ballets, Revised Edition.

by Balanchine and Francis Mason  
(Doubleday & Company)

バランシンのバレエ観といったものより作品のタイトル、物語などが主要な部分を占めている。“いかにバレエを楽しんだらよいか”“どのようにして自分は舞踊家になったか”“子供のためのバレエ”などについて、メーソンのインタビューに応じて、バランシンが語っている。

### The Russian Ballet : Past and Present.

by Alexander Demidov (Doubleday & Company)

この本の特徴はヨーロッパ、アメリカ、日本にあまり紹介されてない現代ソヴィエトの舞踊状況につ

いて書かれたものである。現代ソヴィエトの前衛舞踊、ソヴィエト連邦の地方での舞踊活動について記されている。

### A Time to Dance: American Country Dancing from Hornpipes to Hot Hash.

by Richard Nevell (St.Martin press)

アメリカの民俗舞踊、とくにニュー・ハンプシャーの田舎の民俗舞踊を取扱ったものである。

### A Midsummer Night's Dream, 'The Story of The New York City Ballet's Production told in Photographs.'

by Martha Swope (Podd and Mead Co.)

ニューヨーク・シティ・バレエの写真による公演記録。

### Dance: The Art of Production.

by Joan Schlaich and Betty Dupont.  
(The C. V. Mosby Co.,)

舞踊を上演する際のプロセスについて書かれたもので、実用書の部類に属する。振付師、照明家、装置家、音楽家、衣裳家がたがいにどういうふうにして仕事を進めていくか、実際の例を引いて説明している。“音楽／音響”の部分でどんな音響機械が劇場に備えつけてあるか、“プレス関係”の部分ではどのようにハブリシティをしたらよいかについて書いてある。

### Movement Games.

by Esther L. Nelson (Sterling Publishing Co.,)

“未開”社会と“文明”社会の子供の身体を動かしてする遊戯、アフリカやアメリカ・インディアンの太鼓による会話などが記述されている。

### Group Dance Improvisation.

by Barbara Mettler (Mettler Studio)

アリゾナ州タスコンにタスコン創作舞踊センターがあり、そこで行なわれている授業と理論について書いたもの。

### Dance in Elementary Education.

by Ruth Lovell Murray (Harper & Row)

初等教育における舞踊の実際について書かれたもので、テクニックの習得と即興による自我の解放に力点が置かれている。

### To Dance, To Live.

by Tina Mackler and Thalia Mara

(Dance Horizons)

二人の著者が見たバレエ・ダンサー達、ヌレエフ、フォンテン、ペター・マーテン、マカロフなどの印象を書いたもの。

### Ballet Body Language.

by Joan & Teena McConneil (Harper & Row)

言語学者の姉とニューヨーク・シティ・バレエのダンサーである妹による共作。この二人はアメリカ、ヨーロッパをレクチャー・デモンストレーションして歩き、その講演記録をもとにして、この本を書いた。ポアントの歴史について書いた部分は新鮮だといわれる。

### Ruth Page: An Intimate Biography

by John Martin

今世紀のアメリカの女性舞踊家はフラー、ダンカン、デニス、グラハム、ハンフリー、デーミルなど数多いが、ルース・ページを付け加える必要がある。日本にもハロルド・クロイツベルグの相手役として、1930年代初期に来日し、シカゴ・オペラ座を中心にアメリカのバレエの発展にも多大な寄与をしたが、ニューヨークというアメリカ文化の中心からはずれていたために、どちらかといえば過小評価されてきた。この著は有名な舞踊批評家ジョン・マーチンが記録、インタビューなど多角的にページの舞踊家としての歴史を明らかにしている。

### The Dancer's Book of Health.

by L. M. Vincent

(Sheed, Andrews and McMeel Inc.)

舞踊家はよく怪我をする。スタジオで転倒した時、仲間のダンサー達も経験があるので、“膝を暖めろ”“ビタミンEをとれ”“冷やせ”“医者に見てもらえ”などという。どれも正しいだろうが、経験だけではないので信憑性がない。この著は三人の医師による適切なアドヴァイスを収録したもので、アキレス腱切断、捻挫、筋肉痛、椎間板ヘルニアなど舞踊家独特の怪我を起した場合にどういった処置をしたらよいか書いてある。

### Modern Jazz Dance.

by Fred Traguth (Dance Motion Press)

500枚ほど図版のあるわかり易いものである。著者はドイツ人だが、単にアメリカだけでなく、アフリカの舞踊までも見聞してこの本を書いた。“バーとフロアの運動”“イソレーション”“ポジションと空間”などの章がある。

### Dance A while: HandBook of Folk, Square, and Social Dance.

by Jane A. Harris (Burgess Publishing)

舞踊教師の教材用テキストで、巻末には使用レコード、教材用具、テクニカル・ターム一覧などが付してある。

### Charleston Anyone.

by Aurora S. Villacorta

(Interstate Printers & Publishers)

チャールストンの短い歴史と、そのステップのヴァリエーションが書かれている。

### Die Kunst des Flamenco.

by Alfonso Puig Claramunt and Flora Albaicin

(Editiones Poligrafa S. A)

英語、フランス語、スペイン語でも出版されたもの。“カフェ・カンタンテ”つまりカフェで演じられたフラメンコの歴史に重点がおかれている。

### 40 Years of the New York City Ballet.

(The Dial Press)

「セレナーデ」「ユニオン・ジャック」「アポロ」など238の作品が写真入りで収録されており、リンメン・カースチンの「バランシンの芸術的信条について」のほか、ウォルター・ソレルなどのバランシンについての論文がある。

### To Dance.

by Valery Panov (Alfred A. Knopf)

ソ連から亡命した舞踊家にはヌレエフ、バリシコフ、マカロフなどがあるが、最近ではヴマレソー・パノフのレニングラード・バレエからの亡命があった。彼はヌレエフなどちがってユダヤ人であり、芸術的自由というよりソ連におけるユダヤ人問題から亡命に踏み切ったようだ。この本には彼がレニングラードで学んだことや亡命の諸事情、ヴィザのことなどが書かれている。

### L'Histoire Du Ballet et de la Danse.

by Alexander Bland (Albin Michel)

どちらかといえば、イギリスのバレエに重点が置かれ、フランスのバレエ史という点では不十分な記述である。

### Beauté de la Danse.

by Gilberte Cournand (Gautier Edition)

クールナン女史は今迄ピエール・ラモー、ノベールなどについての研究書を出してきたが、この本は素晴らしい図版によってきわだっている。彼女の文献の蒐集量がものをいってこの本を生んだといえる。

### Ballet dans le Monde - Formes Nouvelles

by Serge Lido (Edition Vilo)

セルジュ・リドの写真集で400枚ほどの写真が収録されている。モーリス・ベジャールが序文を寄せている。

Le Ballet et Opera

〈Vision de La danse〉として企画された第一巻である。フランセト・ルブー、コレット・マッソンが写真を集め、イメージ豊かな本にしている。

Histoire de la Danse en Occident.

by Paul Bourcier

パリ七大学の歴史学教授であるブルシェ教授が、歴史と舞踊の関係を書いたものである。

Jorge Donn danse Bejart.

by France Nerran et Tonicatany

(Fernand Nathan)

モーリス・ベジャール・バレエ団の男性舞踊手、ホルヘ・ダンをフィーチャーした写真集。

Ballet - Faszination.

by Max Fiehaus

(Nymphenburger Verlagshandlung)

世界のバレエ界の写真が238点入っており、ダンサー達358人の簡単な紹介がある。

Sowjetisches Ballett.

by Rolf Schrade (Heinrichshofen Verlag)

ユーリ・グレゴロヴィッチが序文を書いたもので、300枚の写真によってソヴェットの最近のバレエ界が紹介されている。



舞踊学修士論文題目一覧

(昭和52～53年度分)

年度	論文題目	氏名	大学院
52	ハンガリー民族舞踊の研究 —舞踊と地域性—	大沢慶子	お茶の水女子大学 人文科学研究科
	舞踊における 歩行動作の比較研究	花城洋子	〃
	Boby Image and Dance	米井澄子	順天堂大学・体育 学研究科
	舞踊創作の教授 —学習家程における 過 「モチーフ」の機能—	井上 幸	広島大学・教育学 研究科
	ルドルフ・ラバン研究	猪狩初代	お茶の水女子大学 人文科学研究科
53	未開民族における 舞踊の機能について —アフリカの舞踊に対する 文化人類学的アプローチ—	遠藤保子	お茶の水女子大学 人文科学研究科
	芸の心得 —七世板東三津五郎考—	岡野理子	〃
	歌舞伎無踊にみる おかしみの性質について	宮脇裕子	〃
	舞踊の認識について —Maxine Sheets の ‘The Phenamenology of Dance’ を中心として—	吉田京子	〃

※(1) 各大学院に調査依頼の結果、昭和54年 4月20日現在  
回答分を掲載した。  
(2) 大学院名は五十音順。

学会活動報告

※ 5月17日日本大学芸術学部中講堂で、舞踊学会、  
日本大学芸術学部演劇学科共催により「趙元庚「韓国  
舞踊」レクチュア・デモンストレーション」を開催。  
第一部 三国(中国・韓国・日本)舞踊の試験的比  
較。  
第二部・第三部 韓国の宮廷舞踊、巫俗楽舞、仏  
寺法舞、鳳山仮面劇、農楽舞、式楽舞な  
ど十三曲目を踊る。  
※ 6月3日(土) 舞踊学会紀要『舞踊学』創刊号を発行。  
※ 6月3日(土)4日(日) 日本大学ほかにおいて昭和53  
年度総会ならびに第5回舞踊学会春季大  
会を開催。  
第1日(日本大学芸術学部中講堂)  
特別公演 舞踊学の方法論一能の研究を例とし  
て—  
東京藝術大学教授 横道万里雄  
映画「能」(外務省製作)  
シンポジウム・能における舞踊性  
(司会) 松本亀松・横道万里雄・横井茂  
・大町倫子  
総会一事業報告・会計報告・監査報告・役員改  
選

理事 石福恒雄・浦山政雄・市川雅・柿沢充・  
川口千代・郡司正勝・上林澄雄・如月青  
子・桜井勤・高橋秀雄・鳥越文蔵・松本  
亀松・松本千代栄・目代清・山田敦子  
監査 柴崎四郎・横道万里雄  
理事の互選により、会長に郡司正勝を選出。  
高点順により、副会長に松本千代栄・市川雅  
を会長より委嘱。  
懇親会  
第2日 見学 観世会定期能(観世能楽堂)  
※ 7月11日(火)の理事会において板谷徹、石井一躬  
岩川真紀、平野英俊、丸茂美恵子に幹事を委  
嘱。  
※ 10月7日(土)8日(日) 奈良女子大学ほかにおいて  
第6回舞踊学会を開催。  
第1日(奈良女子大学会館大集会室)  
研究発表。  
動きのリズム指導の現状と問題点  
若松美恵子  
ダンス学習指導に関する研究(2) 佐分利育代  
舞踊創作過程における創作経験ならびに不安  
特性の影響 榎並 恵子  
平井タカネ  
舞踊用語に関する研究Ⅱ 松本千代栄  
山田 敦子  
大熊琴月枝  
本間 清美  
名須川知子  
舞踊表現の特性 清水 威  
舞踊を一要素とした総合美術への私的試み  
葵 妖子  
舞踊における普遍的なものと特殊なもの  
の方向 神沢 和夫  
特別公演 行動美学としての舞踊  
近畿大学 近藤 英男  
報告 アメリカにおける舞踊学会(ADG/CORD)  
出席報告 早稲田大学 郡司 正勝  
懇親会  
第2日 見学 榎茂都流(榎茂都陸平氏)稽古所見  
学  
山村流(山村たか氏)稽古所見学  
井上流温習会(先斗町歌舞練場)見学  
奈良豆比古神社翁舞 見学  
(第5回舞踊学会運営委員——目代清、原一平、豊  
田玲子、千早正美、沼田憲平、神永光規、新納紀美  
夫、戸田宗弘)  
(第6回舞踊学会運営委員——運営委員長・近藤英  
男、総務・穴迫洋子、平井タカネ、発表会場係・川  
村、渡辺、本部事務局・黒田、徳永、受付・林、庶務会  
計・河本、懇親会・穴迫、平井、見学・穴迫)